

## ユニセフカップ2012 芦屋国際ファンラン

2012年4月8日

### 実施レポート

1984年にはじまった「ユニセフカップ2012芦屋国際ファンラン(主催/サンケイスポーツ、産経新聞社)」が4月8日(日)、兵庫県芦屋市で開催されました。今大会は「教育を世界すべてのこどもたちに」をテーマとして開催され、日本ハムは特別協賛で参加しました。

今年は8,200名を超える市民ランナーが集まり、お子様からご年配の方まで、多くの方々が元気よくマラソンに参加されました。また、会場では仮装コンテストも開催され、思い思いの仮装をした参加者に多くの歓声が集まりました。

毎年好評いただいているチャリティーフードショップには、日本ハムグループ従業員約40名が参加し、ウイニーフランクを使ったミニホットドッグや天津閣の豊潤肉まん、バニラヨーグルト(日本ルナ)などをご提供、売り上げの一部を(財)日本ユニセフ協会に寄付いたしました。

会場となった芦屋浜は満開の桜に包まれ、地元住民のみな様を中心に、大いに盛り上がるイベントとなりました。

日本ハムグループは「食とスポーツで健康を育てよう。」をテーマに、プロからアマチュアまで幅広いスポーツ支援に取り組み、皆様の心と体の健康を応援して参ります。



大会当日はファミリー3kmや男女10km、男女ハーフマラソン、男女マスターズ ハーフマラソンが開催されました。



チャリティーフードショップでは、アンティエの焼きソーセージ盛り合わせやベーコン・ペパロニピザなども大好評。



入賞者へは、日本ハムの国内自社農場でつくられた「美ノ国」の骨付きハムや、「北海道プレミアム」シリーズのハム・ソーセージ詰め合わせなどが贈呈されました。



日本ハム(株)近畿圏量販部前田部長より、(財)日本ユニセフ協会へ寄付金を贈呈しました。



多くのちびっ子やご家族が「食育クイズ」に挑戦。